

中京大学大学院

人文社会科学研究所 日本語日本文学専攻

修士課程

社会人選抜

【専門科目】

論述・書学（志望専門分野）

試験時間120分(10:00~12:00)

《受験上の注意事項》

一般注意

- ① 受験票は、机の通路側に置いてください。
- ② 指示があるまで問題を開かないでください。
- ③ すべての解答用紙に、受験番号と氏名を正しく記入してください。
- ④ 解答は、必ず解答用紙に記入してください（問題用紙に記入しても採点されません）。
- ⑤ 問題文中に特に指示がない場合は、日本語で解答してください。
- ⑥ 試験中は監督者の指示に従ってください。
- ⑦ 試験中、質問等がある場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- ⑧ 試験終了の指示があったら、ただちに解答用紙への記入をやめてください。
- ⑨ 配付した試験問題は、すべて回収します。

問題について

- ① 問題用紙は本紙を含め全3枚あります。開始の合図があったら、まずすべての枚数がそろっているかを確認し、乱丁・落丁がある場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- ② 【論述】については問題用紙に解答を直接記入してください。
- ③ 解答用紙は【書学（志望専門分野）用】が3枚あります。問③については、解答欄が印刷されている専用の解答用紙（解答用紙番号2）に解答を記入してください。

机の上に置いて良いもの

- 受験票
- 筆記用具
- 時計（時間を計る以外の機能が付いたものは不可）

※これらのもの以外はカバンの中に入れ、床に置いてください。眼鏡、薬、ハンカチ等を机の上に置くことを希望する場合は、監督者に申し出て下さい。

二〇二六年度 人文社会科学研究所 日本語日本文学専攻 修士課程 前期日程入試問題
社会人選抜 論述

〔一〕次のどちらかを選んで解答しなさい。(選んだ問題番号を丸で囲み、必要に応じて裏面も使用する
こと)

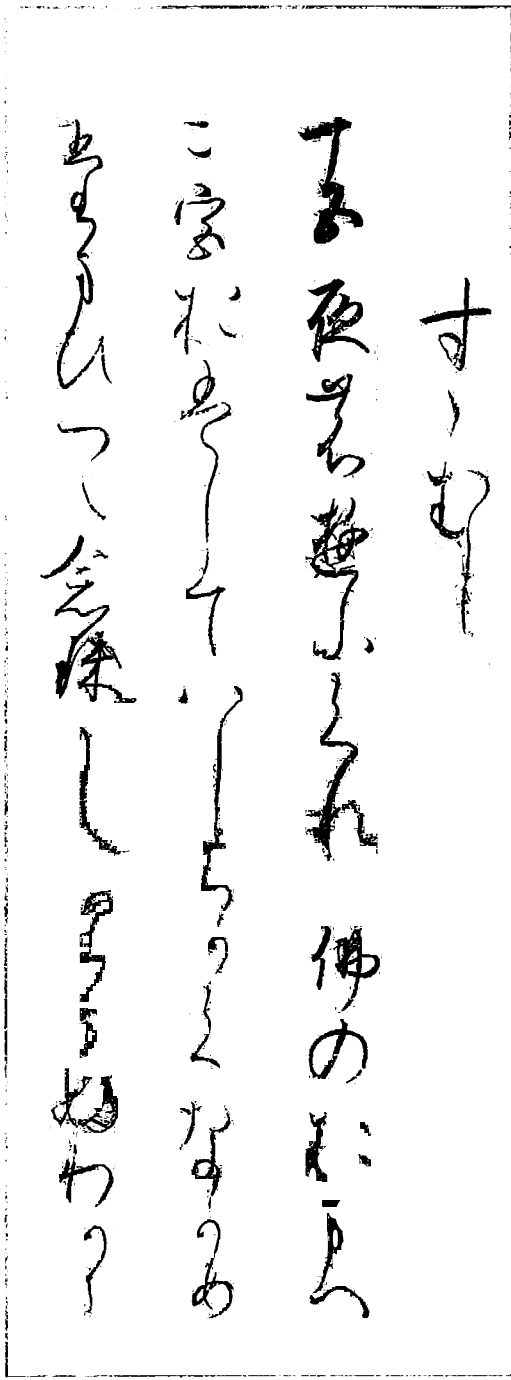
1. 高校の国語科において、我が国の文化や漢字等について学習指導要領に定められた各科目でどのよ
うに扱うべきか、考えを述べよ。
2. 高校の芸術科の書道において、表現と鑑賞のそれぞれについて何に留意して指導すべきか、考えを
述べよ。

受験番号		氏名		得点	
------	--	----	--	----	--

次の五問①～⑤のうち、二問を選んで答えよ。(別紙解答用紙使用のこと)

① 楷書について知るところを述べ、楷書を書くときの身体および筆の一連の動きを、時間の流れとともに具体的に説明せよ。

② 次の図版は『源氏物語絵巻』の一部である。漢字は楷書で、仮名はひらがなで翻字し、解説を加えよ。



③ 『東坡題跋』の一節、「書を論ず」に、「書には、必ず神・気・骨・肉・血有り。五者一を闕けば、或書と為さざるなり。」とある。次に返り点を付し、解説を加えよ。

書、必有神気骨肉血。五者闕一、不為成書也。

④ 昨今の中学校書写教育の現状について考えるところを述べよ。

⑤ 次の語群の中から二つ選び、知るところを述べよ。

- 【 千字文 常用漢字 集王聖教序 三筆 古筆切 】

※答案用紙(別紙)が不足する場合は裏面を使用せよ。

受験番号	氏名	得点
------	----	----